

### 同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

②同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

## おきなわ同友会しんぶん

# ニライ みらい

2022年（令和4年）

11月号



No. 416

発行：沖縄県中小企業家同友会  
編集：広報委員会

〒901-0152

沖縄県那覇市字小嶺1831番地1 沖縄産業支援センター603号

☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208

http://www.okinawa.doyu.jp

E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

## 21世紀に輝く

No.216

### 「凡事徹底」の精神で お客様に向き合う

まみダンボールの代表取締役社長 座間味 一郎（かずあき）さんを訪ねました。

三十八歳で  
代表取締役

私たちの生活にとっても身近な段ボール。モノを運搬する上で必要不可欠な包装資材、梱包資材として物流、そしてビジネスや消費生活を支えています。段ボールがなければ、食料品、日用品は私たちのところには届かない、と言っても過言ではないでしょう。

社名のとおり、段ボールの製造・販売をしている会社ですが、紙・文具・事務用品・事務機の販売もしていて、会社全体の売上の三四割ほどを占める主力事業なんだとか。知っていましたか？

父さんが六十五歳のとき社長交代へ向けた話が、始まったのはその五年ほど前。一郎さん自身はまだまだ早いからと社長就任をずっと拒み続けていたんだとか。でも、お父さんにも早く社長の座を譲るのには理由がありました。

「お客様が必要ときに、必要な商品を、適正な価格で提供」

「当社に必要とされている商品がない場合は、お客様が必要とする商品を探し、適正な価格で提供します。」



(株)ざまみダンボール  
代表取締役社長 座間味 一郎氏  
(南部支部)

を尋ねたら、一郎さんの答えは明快でした。それは、経営理念に掲げられた「お客様が必要ときに、必要な商品を、適正な価格で提供」していくのだと。

「どういうことかと聞けば、物流のデジタル化は、段ボールに求められるデジタル化にはもちろん、地方や中小企業ではそうした波が遅れてやってくるし、デジタル化にすぐに対応できる企業もあれば、なかなか対応できない企業もあるはず。だから、お客様それぞれの状況の違いによって、求められるものをきちんと提供していく。もちろん適正な価格で。言われてみれば当たり前のことなのですが、物流に必要不可欠な段ボールという物資でインフラの一翼を担っているという責任と自覚を受け取ったのは私だけでしょうか。

《会社概要》  
(株)ざまみダンボール  
代表取締役社長 座間味 一郎氏  
(南部支部)

所在地／糸満市字西崎町4-7  
TEL／098-992-1717  
業務内容／製造業（ダンボール製造・販売、紙、文具、事務用品卸・販売）  
URL／http://www.zamami.co.jp/



（伴走舎・牧野 誠）

創業六十年を超えたざまみダンボール。先代から受け継いだ経営理念と「凡事徹底」からブレることなく、創業一〇〇年へ向けた基盤をこれから一郎さんは作っていくでしょう。

### 第32回 経営研究フォーラム

2022年11月18日(金) 15:00～20:00(受付 14:30)

【基調講演】ノボテル沖縄 2F「ラーボ」  
【懇親会】ノボテル沖縄 B1「ルシエル」  
※第1部「基調講演」は無料。会場のみ開催（Zoom無し）

テーマ 市場を生きぬくために  
今、求められる人間尊重経営

講師 特定非営利活動法人  
アジア中小企業協力機構  
理事長 黒瀬 直宏氏

10月11月の行事案内

## 茶論

ちむどんどん口ス・・・沖縄を舞台にした連続テレビ小説が終わり、心にぽっかりと穴が開いたように感じた。

青い空、碧い海、やんばるの森に癒され、琉球料理、泡盛、しまくとぅば、唄三線、踊りなど沖縄の文化にも触れた。また、ガマでの遺骨収集や、戦時下に命の恩人から預かったジーファー（かんざし）を遺族に届けに来た話など、何十年経っても癒えない沖縄戦の深い傷跡も描かれた。さらに、女性の社会進出、障がい者との共生、職業に貴賤なし等についても考えさせられた。▼比嘉暢子（のぶこ）は1972年5月15日（復帰の日）に、料理人になるため島で上京した。筆者は、1993年に就職のため上京した日のことを思い出した。渋谷ハチ公前で友人と待ち合わせした際、宗教の勧誘とは知らず、綺麗な女性から幸せを祈ってもらった。電車や地下鉄の乗り方も分からなかった。蕎麦つゆと間違えて天つゆに蕎麦をつけて食べ、笑われたこともあった。何も知らない若者を辛抱強く育ててくれた上司や先輩には感謝しかない。▼復帰から50年、沖縄はどう変わったか。良くなったこともあるが、未だ様々な課題が山積されている。地域の未来を創る主役は私達中小企業家だ。そう思うと使命感に燃え、また「ちむどんどん」してきた。

（宮城光秀）



## 北部支部9月支部例会

業種の垣根を超えた連携で  
地域を元気に

(左) 座長佐湯氏、(右) 大城氏

九月二十二日に名護市産業支援センターにて北部支部例会委員会・六次産業化委員会共催の北部支部例会が開催されました。

当日は支部会員とゲストを合わせて二十七名が参加しました。農業生産法人(株)沖縄北斗代表取締役社長 大城照政氏に「業種の垣根を超えた連携で地域を元気に!」(生産から販売まで)と

をテーマに講義いただきました。講義では、東村のブランド豚「パイとん」の開発・ブランドイングに至るまでの道のりについてお話を伺いました。沖縄同友会の異業種の仲間達とコラボをして他分野の専門性を取り入れることで、新規事業に展開が広がったことや、商品に自信を持つているため、実際に「パイとん」を試食してもらい良さを分かってもらえた店だけに販売をしていること、価格は自分達で決めていること、今後は「パイとん」の知名度を全国的にも上げていきたいなど、大城氏の「パイとん」にかける熱い思いを感じました。

その後のグループ討

## 中部支部 第2回ビジネス交流PR会

## ビジネスマッチングのチャンス?



PR会の様子

九月二十九日、中部支部第二回ビジネス交流PR会が開催され、二十一名が参加しました。

今回は十三社が登場し、各社五分の持ち時間で商品・サービスの紹介がありました。

内容については各社様々で、特徴だけでなくビジネスモデルの特性や

論では「あなたの会社の存在価値とは何ですか?」をテーマに活発な意見交換ができました。

か?」をテーマに活発な意見交換ができました。

苦労話・ウラ事情などなど、普段聞けないようなお話がたくさん聞けました。質問も多く出て、ほとんどの発表が予定時間をオーバーするような盛り上がりでした。中には「ウチの会社で困っていることが、その商品であれば解決できそうなので今度、詳しく相談させてほしい」などといったビジネスマッチングのきっかけになりそうなやりとりもありました。数名のゲスト参加者の方もいらつしやうて同友会の入会PRにもなったと思います。その後の懇親会までも多くの皆さんが参加さ

## 那覇支部経営基礎講座第2講・3講

## SWOT分析やSNS活用する戦略・戦術とは?



宮里氏



上地氏

（株）オキジム・當山安史）同友会ならではのイベントであり、会員のみなさま、一度はプレゼンしてみたいかがでしようか?（株）okcom・波平恵太）

講師に「不況に強い企業（事業）とは?」をテーマに開催しました。コロナ禍で影響を受けている企業が多いなか、不況に強い仕組みをSWOT分析の活用とグループワークを通して学びました。

第三講は、マーケティングソムリエ沖縄（株）の宮里拓樹社長を講師に「SNSを活用する戦略・戦術とは?」をテーマに開催し、マーケティングの考え方（①論理的・②顧客の惹きつけ・③動か

す）とプロモーションとの違い（②と③）を説明し、「論理的」が重要だと話しました。マーケティングの流れとして、①リサーチ（調査・分析）②戦略（4W1H）③体制整備、④効果検証の四つになります。また、戦略と戦術の違いや各SNS（ライン、ツイッター、フェイスブック他）の特徴、プロモーションとブランドイングの違いを踏まえ、自社が経営戦略として重要視する視点に応じてマーケティングを考えていくと話しました。細かい説明と事例も含めた報告でとても分かりやすい内容でした。（事務局）

## 第54期経営指針作成講座報告会・修了式

## 経営指針は自社未来の礎!

九月七日、第五十四期経営指針作成講座報告会・修了式が沖縄産業支援センターにて三十七名（受講生十六名）の参加で開催されました。

受講生は創業者、承継者、管理職など立場が違いう中で自身が自社の未来を想像し、真剣に各講義を受講し、グループ討論を経て作成した、経営理想がありました。（事務局）



當銘氏

## 那覇支部西地区事業プレゼン

## 一味異なる「事業プレゼン」!

九月二十七日、沖縄産業支援センター、ZOOM併用で那覇支部西地区の第一回事業プレゼンを開催しました。この取り組みは、同じ地区会員同士でもお互いの事業やその人自身を知らない状況を踏まえ、お互いを知る会として企画し、さらに報告者の「生い立ち・



クラシコを2名で紹介

信念・人間性・経営理念」と「企業変革支援プログラム」を活用した自社の分析と課題などを内容に、（株）フォーカスの當銘将也執行役員（COO）と（株）クラシコの前森裕人社長、前森章子取締役の三名にご報告いただきました。

報告者の三名（二社）よりの、生い立ちから起業までの経緯と現状の課題の報告では、よくお会いしている方たちでしたが、知らない事が多くあり、報告を通してこの人と繋がり・関わりたいと思う内容でした。

西地区では今後もこの企画を開催いたしますので、地区会員の皆さま、ぜひ報告者または参加者としてのご参加をお待ちしております。（事務局）



合同会社 松島

代表社員 奥平 あかり 氏

子どもたちの楽しく遊ぶ声が聞こえてくる「石垣島うみそら保育園」子どもたちが大好きなんです、というお話が聞けると思いきや、出てきたのは食にまつわる色々なお話。「何を食べるかだけでなく、食に対しての意識は自分自身や人と向き合うことと同じ」、続い

て「食育、噛み合わせ、姿勢、そして栄養素などにこだわった内容で、子育てのお手伝いをしています」とこやかに話します。合同会社 松島 代表社員の奥平あかりさんにお話を伺いました。

自らのお子さんの発達障害・不登校の経験を通して、奥平さんは冒頭の保育園と同年5月に「放課後等デイサービスこたんと」を開所。リビングループで過ごす安心感、をテーマに始めたその事業所では、食事を一



奥平 あかり 氏

緒に楽しく作る、食べる、そして食後の洗い物まで自分たちで行います。

「デイサービス開所前、子どもたちが叔母のお手伝いをした日の夜の事で話をする子どもたちの目がキラキラしてい

## 食を通してみんな元気に!

たことがとても印象的で、楽しく調理をして楽しく食べる。家族にふるまい楽しく過ごす。調理の工程からコミュニケーションの練習となり、自己肯定感を高める事に繋がっていたんだと思いが、食べることは生きること、自分自身の存在を認めることなんだな、とその時強く感じました。

将来的には「大きな家のコミュニケーション」を目指すという奥平さん。子どもたち（保育園・学童・放課後デイサービス）とお年寄り（介護）で心のつながりを。じいじ、ばあばが子育てを手伝い、孫がじいじ、ばあばを想

## 《会社概要》

合同会社 松島  
代表社員 奥平 あかり 氏  
(八重山支部)所在地/石垣市字真栄里273-1  
TEL/0980-87-0187  
事業内容/福祉事業  
URL/https://matsushima.okinawa/





宜野湾市野嵩で就労継続支援B型を運営している「グッジョブワン」は、他拠点で訪問介護もされている会社です。

代表理事の具志さんは旅行業から福祉の道に進み十年、今年四月に就労継続支援B型グッジョブワンを立ち上げました。

七月に浦西支部での企業プレゼンにて活動報告をされ、行動力のある経営者です。

立ち上げ当初は、利用



Zoom 併用で 30名が参加

九月二十二日、うるマルシェとZoom併用にて、中部支部&うりずん九月合同例会が開催されました。



上地氏

中部支部&うりずん9月合同例会  
背をむけずひたすら前を見続ける

「3代目マスオさん事業承継奮闘記」私は逃がない、めげない、あきらめない」をテーマに、平宮産業（株）常務取締役の上地雄也氏による報告が行われました。

同社は、地域の雇用を創出する会社として、沖縄石油基地の創業と共に事業を開始しました。上地氏は、創業者である義父からの事業承継の打診をきっかけに入社し、ICT事業を立ち上げますが、入社後は、想定外の壁が立ちはだかります。このような状況の中でも、めげずに、信頼関係づくりに取り組みました。

者が二名と少なく（現在九名）、具志さんご自身が興味を持ったら県外へも情報収集・契約まで行い、色々な商品を発掘しましたが、障がいがある方との働き方がマッチングせず、別の支援先へ行ってしまう事がしばしばありました。



(左) 具志代表と (右) 社員さん

得意分野を把握し、  
商品開発を

「社会貢献できる場所や作業内容を充実すれば、利用者も増えるだろうという想いとは裏腹な結果になってしまった事に、自己満足だったのかもしれない」と改めて考えさせられました。

利用者の中には中途障がいの方も多数おり、その方の過去に経験した職種の得意分野を把握し、商品開発を行っています。

「グッジョブ・ワンで楽しく♪チャ！チャ！チャ！（3CH）を合言葉に①チャンスをおもてう！②チャレンジしよう！③チェンジしよう！と誰もが明るく働ける雰囲気づくりを心掛けています。

事務所には利用者が作成したエポキシレジンアートという、沖縄のイメージに合った土産品としても素敵な商品があります。店頭やネット販売もしています。

また、強度にこだわったスマホガラスコーティング等も二〇〇台施工し好評です。



新商品のプリザーブドフラワー(仏花)

宮古・中部支部合同企業変革プログラム学習会  
経営を全体的に俯瞰できるツールとは

九月十五日、宮古島ICT交流センターにて、宮古支部・中部支部合同企業変革プログラム学習会が開催されました。

「経営を全体的に俯瞰できるツールは、企業変革支援プログラムのみ！最強ツールを無料で活用しませんか？」をテーマに、(株)フォーカスの當銘将也社長を講師に、Zoom併用で十七名が参加しました。



Zoom 併用で 17 名が参加

分には与えられた環境がどんな状況でも、背をむけずひたすら前を見続けることで、どんな壁も乗り越えられることを学びました。（株）沖縄環境科学研究所・高柳圭吾）

《会社概要》

(一社) ナンバーワン

代表理事 具志 鉄平氏

〈浦西支部〉

住 所／沖縄県宜野湾市野嵩 1-23-15 1F

TEL／098-917-5623

業務内容／サービス業（障がい福祉サービス）

URL／ナンバーワン（https://no1no1no1.com/）

さらにはYouTubeなどの動画編集、最近では軽作業の梱包など企業から分業の相談も増え、新商品のプリザーブドフラワー（仏花）制作にも意欲的に取り組み、利用者の就労継続支援の幅も広がってきています。

是非、足を運んでみて下さい。（株）リウデン・謝敷千恵子）



皆で集合写真

浦西支部ウォーキング&BBQ交流会  
ウォーキングとBBQで交流

浦西支部ウォーキング倶楽部・南部支部合同ウォーキング&BBQ交流会が九月十日（土）の一五時〜一九時に開催されました。

初の合同開催となったウォーキングは、南部支部会員の(有)三大食品をスタート・ゴールに設定

で、自社の課題がわかります。「課題の原因追及が何より大切であり、自分が考える原因を第三者の意見をもらいながら徹底的に洗い出す事とは、はつきりした課題の対策を打ち出す事が大事」「経営課題を解消していき、関値の点数を上げることを

で、更によい経営者、よい会社が目指せる」と話しました。

後半は、実際に企業変革支援プログラムの登録、点数化を行い、参加者からは「繰り返し、繰り返し、何度も社員と取り組むことが大切」などの声がありました。（事務局）

コースNo. 133

企業価値を高める！中小企業のための

SDGsの取り組み方

エスディージーズ

～九州・沖縄経営者塾【沖縄教室】～

研修のねらい

この研修では、SDGs（持続可能な開発目標）の概要や効果的な実践方法を学びます。また、自社でSDGsと事業戦略をどのように結び付けていくかを検討し、企業が持続するための経営のあり方や企業価値を高める方策を、演習を交えて学びます。

研修期間

2022年【1日間】

12/16金

会場

沖縄産業支援センター

沖縄県那覇市宇小禄1831番地1

対象者

経営者・経営幹部・後継者

定員 30名

受講料 16,000円(税込)

講師紹介(敬称略)

株式会社ヒューマンリソース・デベロップメント 代表取締役

清永 誠

(きよなが まこと)

三井ハイテック（北九州市）に入社し、ICリードフレームの製造、品質管理などを行う。その後、人材派遣の営業などを経て、戸畑ターレット工作所に入社し、営業実務、生産管理などを経験。1995年、多角経営に失敗し、倒産の危機にあった同社を再建。中長期経営計画立案と実践、自動車産業への参入を果たし、オーナー家へ事業承継。2015年6月、『至誠塾』を立ち上げ、地元の中小企業経営者を対象に高い志を持つ、「人」中心の経営を指導。

申込書は人吉校ホームページからダウンロードできます。必要事項を記入の上、FAXにてご送信ください。また、人吉校ホームページからはオンラインでのお申込ができます。

Be a Great Small. 中小機構

中小企業大学校 人吉校

TEL：0966-23-6800（平日 9:00～17:30）

FAX：0966-22-1456

お気軽にお問い合わせください。

人吉校

検索



ビジネス連携部会「ゆいまゝる」9月部会例会  
地域で生き残るビジネス連携  
一人一人の強みを生かす企業づくり



仲本氏

九月二十七日、ビジネス連携部会「ゆいまゝる」九月部会例会では、(有)仲松ミート執行役員 仲本和美さんが自社で行っている障がい者雇用及び補助金などを活用した事業構築などの報告を行いました。

仲松ミートでは障がい者雇用を積極的に行って



発表の様子



坂本氏

社長・社員共育塾第2講  
「5方良しの経営」とは

第二講は九月二十日に、沖縄産業支援センターで開講され、受講生六十五名を含む九十六名が参加しました。

経営学会・会長で経営学者の坂本光司氏による講義と(株)さくら住宅、(株)天彦産業、(株)坂東太郎の三社による実践報告が行われました。

「差別はしません。区別はします」という仲本和美さんの答えにはしつくりくるものがありました。

係機関のそれぞれが幸せを実感できる「5方良しの経営」を行っている企業であるとし、それを実践できているか確認するための「100の指標」について説明されました。

有給の取得率向上、出産・育児支援制度の充実等、社員を大切にし、安心して働ける風土づくりによってモチベーションが上がり、業績向上につながっている事例などが紹介されました。(事務局)

那覇支部北地区事業プレゼン  
親睦を図り、北地区の絆を深める



浦崎氏



當銘氏

九月二十九日、産業支援センターにて、北地区主催による事業プレゼンを開催致しました。

報告者は二名で、はじめに財全グループの浦崎直壮氏より同氏の勤めるグループ会社の事業説明と、自身が開催している金融リテラシー活動など、多岐に渡る事業活動を報告されました。

告で、主な活動としてキャリアコンサルティング、人材育成プログラムについてご報告されました。



グループ討論の様子

今年は沖縄本土復帰50年です。  
復帰を経済関連の数字で見えます。

- ①県内総生産10倍
- ②入域観光客数22.7倍
- ③世帯の収入3倍

※県企画統計課より

沖縄の復帰時と現在の状況

| 分野・事項 |         | 当時              | 現在              |
|-------|---------|-----------------|-----------------|
| 経済等   | 県内総生産   | 4592億円(1972年)   | 4兆5056億円(2018年) |
|       | 入域観光客数  | 44万人(1973年)     | 1016万人(2019年)   |
| 家計    | 世帯の収入   | 12万8621円(1973年) | 39万162円(2020年)  |
|       | 世帯の消費支出 | 9万3512円(1973年)  | 22万6090円(2020年) |

あなたは  
どう分析  
しますか？

オフィス星崎・星崎 浩二

改正電子帳簿保存法とインボイス制度を学ぶ

八重山支部  
経営学習会

九月二十九日、大濱信泉記念館とZom併用で八重山支部経営学習会が開催され、十名が参加



前原氏

士による講義が行われました。

改正電子帳簿保存法では、特に電子取引に関する書類は紙での保存が禁止になることがポイントとし、その保存方法について、システム導入以外に、社内での保存ルールを整備し、ファイル名を統一して保存をすれば、多少手間はかかるが、お金をかけずに対応できる。

な対応方法を検討してほしいと話されました。

インボイス制度については、売上に係る消費税額から仕入にかかった消費税額を控除した差額を納付するという消費税納付の仕組みを踏まえ、制度がスタートすると、インボイス登録をしていない事業者と取引する際は仕入額控除の適用が受けられなくなることを説明。

特に免税事業者であった個人事業主やフリーランスの方は、今後の取引

浦西支部  
第二回経営学習会



学習会の様子



藤原氏

に影響する可能性があり、どのように対応するかしつかり考える必要があると訴えました。

「副業プロ人材」活用のススメ

執筆：法人事業部地方創生グループ 宮里 竜

「副業プロ人材」という言葉を聞いたことがありますか？「副業プロ人材」とは、大企業やITベンチャー企業等で勤務をしている人材が、本業に属



したまま、本業に従事していない時間に別企業の業務を行なうプロ人材のことです。大企業の副業解禁やリモートワークの浸透により「副業プロ人材」として活躍するプロ人材が増加しています。

「副業プロ人材」の得意とする経営課題解決のテーマとして、「販路拡大」「生産性向上」「業務改善」「DX推進」といったテーマがあります。地方企業において人材不足が強まるなか、経営課題解決に向け、専門的なスキル・経験を持つ「プロ人材」を、まずは地方への移住を伴わない「副業」という働き方で活用する企業が増えてきています。

また特徴の一つとして、専門性を有しながら比較的安価かつ柔軟に活用できるという点があり、沖縄県内の中小企業・小規模事業者においても十分に活用することができます。

「副業プロ人材」を活用して専門的な知見やノウハウを自社に取り入れてみませんか？りゅうぎんでは、「副業プロ人材の活用」をご支援することができます。ご興味のある方は、お近くのりゅうぎんへご相談ください。

連絡先：法人事業部地方創生グループ 098-860-3817